

2017年2月23日
株式会社ガイアックス

地域の暮らしを体験できる着地型観光サービス「TABICA」、 佐賀県多久市と提携し、地域活性化に貢献 ～地元の「人」の魅力を活用した新しい観光を開発～

地域の暮らしを体験できる着地型観光サービス「TABICA(たびか、<http://tabica.jp/>)」(運営:株式会社ガイアックス、代表執行役社長:上田祐司、証券コード:3775)は 佐賀県多久市(たくし、市長:横尾俊彦)と2017年2月23日(木)に提携したことをお知らせします。今回の提携により、多久市の「人」の魅力を活用した新しい観光資源を開発することで、国内外観光客を誘致し多久市の地域活性化に取り組んでまいります。



TABICA
地域の暮らしを旅する



■提携の内容

多久市では孔子が祀られている多久聖廟(たくせいびょう)が観光地として知名度が高く、国内外から観光客が訪れている一方、多久聖廟に次ぐ観光資源の開発が課題となっています。そこで今回の提携では、TABICA がこれまで培った着地型観光の体験作りノウハウを生かし、多久市の「人」の魅力を活用した新しい観光資源を開発することで、観光客の増加を目的としています。さらに、子育て中などで柔軟な働き方を求めている人を着地型観光の体験作りの主体とすることで「テレワーカーの働き口の創出」につなげ、その体験の案内人を高齢の方が担い、「高齢者のいきがい創出」にもつなげていきます。体験公開は2017年4月からを予定しております。



多久市 横尾市長(左)とガイアックス代表上田(右)

■地域の暮らしを体験できる着地型観光サービス「TABICA」とは

TABICAは、「暮らし体験マルシェ」をコンセプトとした、着地型観光のC to Cマッチングを行っているプラットフォームです。ガイドブックの見どころを巡る普通の観光とは一味違った、案内人自身の知識や知見を活かした体験を提供しており、参加者は地元の人と知り合いでなければ巡れないようなディープな体験を経験することができます。2015年6月よりサービス提供以降、登録ホスト数は約750人、体験掲載数は約700に達し、2016年の4月以降半年間で利用者が10倍以上増加し、これまでに延べ1万人以上がTABICAで暮らし体験をしています。



着地型観光と発地型観光比較表

	 TABICA 着地型観光	発地型観光
形態	新しい観光の形	従来 of 観光の形
人数	少人数	大人数
内容	ツアー内容も柔軟に変更可能	パッケージツアー
主催	地域が直接手がけることが主流	大手旅行会社が主体
移動	現地集合・現地解散	都会に集合してバス等で移動

(着地型観光と発地型観光比較表：株式会社ガイアックスTABICAにて作成)

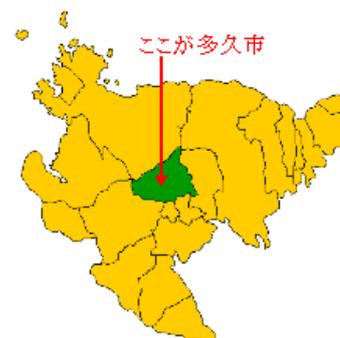
「着地型観光」とは、大手旅行会社が主体となってツアー内容を手がけることが多い「発地型観光」と違い、少人数制で、旅行者の受け入れ先の地域が主体となって体験プログラムを作成することが主流である新しい観光形態です。観光名所めぐりなどの定型的なパッケージになりやすい「発地型観光」と比較し、地域が直接体験プログラムを手がけることで、より地域の文化や暮らしに根ざした体験が多く、またそれらの体験を通じて地元の人と旅行者との交流を生み出すことができます。

■佐賀県多久市

面積:96.96 平方キロメートル 人口:19,927 人

市役所住所:佐賀県多久市北多久町大字小侍 7-1

市長:横尾 俊彦



■関連 URL

地域の暮らしを体験できる着地型観光サービス「TABICA」 <https://tabica.jp/>

■株式会社ガイアックス

設立:1999年3月5日

資本金:1億円

代表執行役社長:上田 祐司

従業員数:174名(2016年12月時点)

本社所在地:東京都千代田区平河町 2-5-3 Nagatacho GRID

事業内容:ソーシャルメディア・シェアリングエコノミー事業、インキュベーション事業

URL:<http://www.gaiax.co.jp/>

本リリースのお問い合わせ

TABICA 広報担当/ベンチャー広報 米島

電話:080-5469-9626 メール:yoneshima@v-pr.net



人と人をつなげる

株式会社ガイアックス

代表執行役社長 上田 祐司

東京都千代田区平河町 2-5-3 Nagatacho GRID

名証セントレックス コード番号:3775

TEL 03-6869-0018(広報室)